

# サウジアラビア

2021年9月21日

海外調査部・リヤド事務所

2020年のサウジアラビア経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済の低迷や油価の下落により、石油部門、非石油部門ともにマイナス成長となった。油価の下落は、輸出額と貿易黒字の大幅な減少につながり、政府財政にも打撃を与えた。輸入も減少したが、国別貿易では輸出入額ともに、首位の中国と他国の差が例年以上に目立った。新型コロナの影響でビジネスは低調であったものの、対内直接投資額は前年比で増加し、日本企業の新規進出案件もみられた。地域統括本部（RHQ）誘致のための新制度の導入も今後の対内投資の動向に影響するとみられる。

## ■石油部門、非石油部門ともにマイナス成長

2020年のサウジアラビア経済は、新型コロナ感染拡大の影響を大きく受け、実質GDP成長率はマイナス4.1%となった。世界経済の低迷に伴う原油需要低下で油価が大幅に下落し、GDPの40.4%を占める石油部門はマイナス6.7%だった。油価は2020年第2四半期以降、OPECおよびOPECプラスによる協調減産の継続などで、緩やかな回復基調となった。2021年には、サウジアラビア独自の追加自主減産も影響を与えた。非石油部門はマイナス2.3%で、観光ビザ解禁などでサービス産業の成長が牽引した前年と比べ、ロックダウンなどの規制が同産業の成長を鈍化させた。その他、政府部門がマイナス0.5%、民間部門がマイナス3.1%となった。

2020年の財政支出実績は歳入7,818億サウジ・リヤル（以下、リヤル）、歳出1兆757億リヤルと7年連続の財政赤字となり、前年から赤字幅が拡大した。新型コロナ感染拡大の影響による世界的な石油需要の落ち込みで石油の輸出収入が減少したことが主要因となった。歳入減に対応するため、2020年7月から付加価値税（VAT）を5%から15%に増税したことで、物・サービスに係る税収は増加したものの、企業の業績低迷に伴う納税額の減少が税収全体を押し下げた。

2021年の政府予算は歳入8,490億リヤル、歳出9,900億リヤルと前年から赤字幅は縮小するが、引き続き歳出超過の予算編成だ。石油輸出収入に次ぐ歳入源のVAT、物品税などの税収増加を見込む。

## ■輸出入はともに減少、中国が前年に続き1位

2020年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比33.5%減の6,519億5,200万リヤル、輸入が9.9%減の5,174億9,100万リヤルとなった。最大輸出品目の鉱物資源の減少が大きく影響し、黒字幅も66.9%減の1,344億6,100万リヤルと大きく減少した。

輸出を品目別にみると、構成比が1%以上のほとんどの品目で減少し、特に原油価格の下落に伴い、輸出額の約7割を占める鉱物資源が40.3%減となったことが、輸出額全体の最大の押し下げ要因

となった。鉱物資源に続く輸出品であるプラスチック製品、化学品もそれぞれ13.9%減、16.8%減と落ち込んだ。輸入も同じく、国内経済の停滞により主要品目でいずれも減少となった。

輸出先を国別にみると、中国はサウジアラビアからの輸入額の71.7%を占める原油が前年比で約3割減少したものの、前年に続き1位となった。日本は順位を上げ2位となったが、対サウジアラビア輸入額の9割以上を占める原油は34.1%減と大きく減少した。インドと韓国の原油輸入額はそれぞれ39.7%減、26.6%減となった。

輸入も中国が1位で、中国の対サウジアラビア輸出の最大品目である電気機器類の31.2%を占める携帯電話の輸出額が6.9%減となったものの、一般機械類の25.5%を占めるエアコン類が24.0%増と好調な伸びを見せた。照明器具・家具類も好調で、34.1%を占める照明器具（シャンデリアなど含む）が59.1%増、26.1%を占める木製・金属製・プラスチック製の家具類が65.0%増となった。また、この数年で構成比を拡大している乗用車の好調ぶりが目立ち、95.9%増と前年に続き大きく伸びた。特に1500cc超3000cc以下の中型乗用車が64.5%増、1000cc超1500cc以下の乗用車が2.4倍と目立った。2位の米国の対サウジアラビア輸出は、主要品目の航空機・同部品、原子炉・ボイラー等機械類が、それぞれ26.7%減、17.5%減となった。自動車では、1500cc超3000cc以下の中型車が14.7%増と伸びたものの、自動車の5割超を占める3000cc超の大型車が19.6%減となったことで、自動車全体では18.0%減となった。ドイツは、主要品目の原子炉・ボイラー等機械類やコック・弁類が減少したが、機械類が43.8%増加したことに加え、食器および衣類用洗浄機が62.1%増と大幅な伸びが見られた。自動車では、主力の1500cc超3000cc以下の中型乗用車および3000cc超の大型車がそれぞれ27.2%減、33.5%減となったため、乗用車全体が6.7%減となったが、プラグインを除くハイブリッド車が7.6倍の伸びを見せた。インドは最大品目のコメの輸入額が2.3%と微増だった。コメに続く乗用車は主力の1000cc超1500cc以下の小型自動車が7.8%減となり、乗用車全体で3.5%減となった。他方、輸送自動車が好調で、5トン以下のトラック、5トン超20トン以下のトラックがそれぞれ6.6倍、5.8倍とな

表1 サウジアラビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万サウジ・リヤル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2019年		2020年		2019年		2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
鉱物資源・同製品	754,961	451,093	69.2	△ 40.3	機械類・電気機器・同部品	120,291	109,094	21.1	△ 9.3
プラスチック・ゴム・同製品	72,834	62,729	9.6	△ 13.9	車両・航空機・船舶等輸送機器	118,264	83,009	16.0	△ 29.8
化学製品	69,552	57,873	8.9	△ 16.8	化学製品	53,854	53,404	10.3	△ 0.8
車両・航空機・船舶等輸送機器	22,605	19,474	3.0	△ 13.9	車金属・同製品	48,896	49,600	9.6	1.4
車金属・同製品	16,869	16,401	2.5	△ 2.8	野菜類	31,124	34,922	6.8	12.2
機械類・電気機器・同部品	12,104	10,966	1.7	△ 9.4	食料品・飲料・酢・たばこ類	27,399	28,418	5.5	3.7
天然・養殖真珠・宝石・貴金属等	5,740	8,555	1.3	49.0	合計 (その他含む)	574,362	517,491	100.0	△ 9.9
食料品・飲料・酢・たばこ類	5,782	5,846	0.9	1.1					
生きた動物・動物性生産品	5,687	5,369	0.8	△ 5.6					
合計 (その他含む)	981,012	651,952	100.0	△ 33.5					

[出所] 経済企画省総合統計庁

表2 サウジアラビアの主要国別輸出入<通関ベース>

(単位：100万サウジ・リヤル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2019年		2020年		2019年		2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
中国	179,669	120,016	18.4	△ 33.2	中国	105,571	101,562	19.6	△ 3.8
日本	100,365	62,307	9.6	△ 37.9	米国	71,024	55,145	10.7	△ 22.4
インド	100,703	60,208	9.2	△ 40.2	UAE	39,806	34,287	6.6	△ 13.9
韓国	78,155	54,379	8.3	△ 30.4	ドイツ	27,649	26,869	5.2	△ 2.8
UAE	50,609	44,349	6.8	△ 12.4	インド	24,850	24,530	4.7	△ 1.3
合計 (その他含む)	981,012	651,952	100.0	△ 33.5	合計 (その他含む)	574,361	517,491	100.0	△ 9.9

[出所] サウジアラビア中央銀行 (旧サウジアラビア通貨庁)

り、輸送自動車全体では6.2倍となった。

### ■非石油部門への投資を促進、対内直接投資額は増加

2020年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は、前年比20.2%増の205億7,300万リヤルとなった。非石油部門育成や投資促進を積極的に進める中で、深刻な課題となっている雇用の促進や資金・技術の国外流出防止を目的として、政府はサウジアラビア国内に地域統括本部（RHQ）を置かない外国企業に対して、政府入札への参加や政府関連機関・基金などとの契約を認めないとするRHQ誘致のための新制度（プログラムHQ）を導入する方針を示した（詳細は2021年中に発表予定）。正式な導入はまだ先だが、すでに外資24社がRHQの移転、または移転の予定を発表しており、今後の対内投資の動向に影響するとみられる。また、再生可能エネルギーによる発電割合を50%以上にするため、順次風力・太陽光発電の入札が行われている。こうした民営化案件への外資参画も対内投資の増加を後押ししていくとみられる。

投資省の発表によると、2020年に外国企業に供与した投資ライセンス数は、前年から147件増の1,278件となった。独産業用ガス大手リンデと地場石化大手シプケムによる合弁会社設立や、米メーカー・ヒューズとサウジアラムコによる非金属製造の合弁企業ノーベル（Novel）の設立、中国興光工業によるLED製造工場建設などの案件が含まれている。また、2020年の非石油部門の製造分野への投資額は、61億3,000万ドルに達した。

### ■日本の対サウジアラビア貿易は輸出入ともに減少

日本の「貿易統計（通関ベース）」をドル換算すると、対サウジアラビア輸出額は42億2,900万ドルで前年比17.3%減となった。主要輸出品目の自動車が乗用車、商用車ともに減少し、特に乗用車の約5割超を占める1500cc超3000cc以下の中型車が22.6%減、約3割を占める3000cc超の大型車が25.4%減となった。新型コロナ感染拡大による経済停滞に加え、2020年7月のVAT増税も影響を与えたとみられる。バス・トラックも全体で減少となり、貨物自動車の4割超を占める5トン超20トン以下のトラックは12.1%減と全体を押し下げたが、3割を占める5トン以下のトラックは、自動車の中で唯

表3 日本の対サウジアラビア主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	3,310	2,624	62.1	△ 20.7	鉱物性燃料	26,686	17,625	95.9	△ 34.0
自動車	3,080	2,435	57.6	△ 20.9	原油及び粗油	26,013	17,138	93.2	△ 34.1
乗用車	2,582	1,995	47.2	△ 22.7	化学製品	454	316	1.7	△ 30.3
バス・トラック	496	439	10.4	△ 11.4	有機化合物	307	214	1.2	△ 30.5
自動車の部品	218	176	4.2	△ 19.0	原料別製品	253	181	1.0	△ 28.4
一般機械	517	490	11.6	△ 5.4	非鉄金属	249	178	1.0	△ 28.5
原動機	109	119	2.8	9.7	原料品	220	229	1.2	4.0
ポンプ・遠心分離機	161	164	3.9	1.3	非鉄金属鉱	58	102	0.6	77.0
荷役機械	45	51	1.2	11.6	合計 (その他含む)	27,625	18,383	100.0	△ 33.5
加熱用・冷却用機器	42	12	0.3	△ 71.1					
原料別製品	732	731	17.3	△ 0.2					
鉄鋼	284	363	8.6	27.8					
ゴム製品	212	157	3.7	△ 26.3					
織物用糸・繊維製品	125	126	3.0	0.6					
電気機器	175	136	3.2	△ 22.3					
合計 (その他含む)	5,111	4,229	100.0	△ 17.3					

〔出所〕財務省「貿易統計」(通関ベース)をドル換算

—36.3%の伸びを見せた。

輸入も輸出と同じく、33.5%減の183億8,300万ドルとなった。輸入額の95.9%を占める原油の輸入額が大きく落ちこんだことが輸入額全体の減少につながった。

## ■日本企業は金融分野で新規の進出案件

2021年6月時点の進出日系企業数は93社（代理店への駐在員派遣を含む。ジェトロ調べ）となった。新型コロナの影響で、2020年3月以降の国際線運休や国境閉鎖による人の往来の制限がとられ、10月以降の国境再開後も日本からの渡航制限措置が継続となったことから、ビジネス全体では低迷した。

その中でも、進出済みの日本企業の活動として、2020年6月に横河電機が新設されるリヤドへの給水システム向け監視システムを受注したほか、サウジアラビアで入札が進む太陽光発電事業において、2021年1月に丸紅が西部ラービグ工業都市内の事業に関わる長期売電契約を締結した。また、近年キャッシュレス決済分野やフィンテック分野への外資参入が目立つ中、新規案件として、サウジアラビアでのJCBカード利用に向けてJCBインターナショナルが2020年7月にサウジ中央銀行と、同年11月には、地場銀行のリヤド銀行とアルインマー銀行の2行と、それぞれ契約を締結するとともに、法人設立に至った。

## 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：3,501万人（2020年）			
②面積：214万9,700km <sup>2</sup> （2020年）			
③1人当たりGDP：2万178米ドル（2020年）			
④実質GDP成長率（%）	2.4	0.3	△4.1
⑤消費者物価上昇率（%）	2.45	△2.09	3.44
⑥失業率（%）	12.7	12.0	12.6
⑦貿易収支（10億サウジ・リヤル）	633	455	180
⑧経常収支（10億サウジ・リヤル）	270	143	△73.7
⑨外貨準備高（グロス）（米ドル）	496,156	499,143	453,208
⑩対外債務残高（グロス）	n.a.	n.a.	n.a.
⑪為替レート（1米ドルにつき、サウジ・リヤル、期中平均）	3.75	3.75	3.75

〔注〕⑥：サウジアラビア人のみ（各年ともに第4四半期の値）、⑦：国際収支ベース（財のみ）、①⑤⑦⑧⑨：2020年は推計値

〔出所〕①④⑥：経済企画省総合統計庁、②：世界銀行、③⑤⑨⑪：IMF、⑦⑧：サウジアラビア中央銀行（旧サウジアラビア通貨庁）

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp